福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	日本たばこ産業株式会社福岡支社
代表者名	岡本 賢司
所在地	福岡市博多区美野島１－２－８
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） －
業種	製造業
電話番号	092-303-0261
ホームページ	https://www.jti.co.jp/

Well-being 向上に向けた取組み	従業員の多様な働き方を推進すべく、フレックスタイム制や在宅勤務制度の導入、また育児や介護等に関しても手厚い制度を整備し、各社員が自身の選択で活用している。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名：　日本たばこ産業株式会社福岡支社

カテゴリ	チェック項目	3側面該当 環境	社会	経済	具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等）が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	女性や障がい者、性的少数者等多様な人材が能力を発揮できる職場環境を整えている。 女性：「準なでしこ2022」取得 障がい者：法定雇用率を上回る、3.57%の雇用を実現 性的少数者：PRIDE 指標で最高評価のゴールド獲得					○			○		○								
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	フレックスタイム制や在宅勤務導入など、新しい働き方や柔軟な勤務体系を導入している。子育てや介護にまつわる各種制度を整えており、子育てをより高い水準でサポートする特例認定企業として「プラチナくるみん」を取得済。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・人権に関する啓発や相談窓口を設置している。 ・差別やハラスメントに関する定期的な研修やEラーニングの実施および相談窓口を設置している。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・「労働時間管理システム」を導入し、残業時間の管理徹底および平準化への取組を実施している。 ・フレックスタイム制の導入による柔軟な働き方の推進をしている。 ・有給休暇の規定日数取得のための管理および働きかけを実施している。			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	スキルアップのための多彩な外部研修プログラムを用意しており、個々の従業員の意志に基づき選択受講できる環境を整えている。				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	2030年までに、たばこ事業における廃棄物発生量を2015年比で20%削減するという目標を掲げ、各種取組を実施している。支社では・ペーパーレス化の促進　・ごみの適正な分別/処理等を実施。また廃棄方法等が不明等のお客様のお困りごと解消に向け、加熱式たばこデバイスリサイクルの取組みを実施している。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	JTグループにおいて使用する電力の内、再生可能エネルギー由来の電力使用量を2030年までに50%、2050年までに100%にすることを目標に取組を実施している。支社ではクールビズ等による冷暖房の使用抑制など、エネルギーの効率的な利用を行っている。							○					○	○				
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	GHG 排出量について2030年までに2019年比47%削減、購入する原材料・サービスに由来するGHG 排出量を2030年までに2019年比28%削減することを目標に掲げ、実現に向けた取組を実施している。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・従業員への節水の呼びかけ等を行い、節水に努めている。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・製品、サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・使用者へのアンケートや相談センターに集まる意見をもとに使いやすい製品やサービスへの改善を行っている。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・防災側面での付加価値を付与した喫煙環境の整備を行っている。 ・防災ジオラマ作成のワークショップを通した地域の防災意識啓発など社会課題解決とリンク させた取組を各種実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		・従業員の個人情報を含む情報の適切な管理を行っている。 ・情報の取扱いに関するEラーニングを定期的に実施している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		コンプライアンス研修や各種Eラーニング等を定期的に実施し法令遵守の重要性を従業員に都度発信するとともに、体制・仕組み・ルールを整備している。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・経営理念を明文化している。 ・経営理念や経営目標は、経営層からの発信や事業所内の掲示等にて継続的に共有/啓発を実施している。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・事業継続計画に基づいた定期的な防災訓練の実施をしている。 ・災害時に従業員の安否確認ができる体制の整備と事業継続計画への記載を行っている。									○		○		○			○	